

2020年「物流関連ゼミ学生による研究発表会」

テーマと概要

1 神奈川大学

【テーマ】 長距離トラック輸送の行き荷混載マッチングと帰り荷確保の新たな仕組み～トラック輸送の生産性向上とドライバー負担の軽減をめざして～

【概要】 物流業界で人手不足が深刻化しているにもかかわらず、長距離トラック輸送において積載効率が悪くなおかつ帰り荷が確保しづらい状況は、非効率な輸送やドライバーの労働環境の悪化を招いている。こうした状況を改善するために、行き荷混載マッチングと帰り荷確保の新たな輸送の仕組みを提案する。

2 朝日大学

【テーマ】 トラック事業におけるコンビニ駐車場を活用した定時性の確保

【概要】 定時性を確保しながらの業務中での待機や休憩取得は、日々の交通状況によって変化し、ドライバー負担が生じている。そこで本研究では、コンビニ駐車場を活用した定時性の確保から負担低減の解決策を探る。

3 広島商船高等専門学校

【テーマ】 物流産業における女性労働力の活躍支援策

【概要】 女性労働力の活躍を支援するためにどのような方策が必要なのか。歴史的経緯を踏まえ概要を理解する。その上で、社会に出る前の若年層にアンケートを実施し、彼女ら・彼らがどのような労働環境を求めているのか、また、とくに女性労働力を支える観点から、どのような環境整備が必要なのか、について考察する。

4 東京海洋大学

【テーマ】 データ分析に基づくピッキング業務の改善～高度物流人材を目指して～

【概要】 企業において物流の効率化と高付加価値化を図る企画・提案ができる高度物流人材の育成・確保が必要とされている。この高度物流人材には、ITやビックデータ等の新技術を活用した物流の効率化を図るスキルが求められている。そこで、このスキルの習得を目指し、実在する物流企業におけるピッキング業務を対象に、在庫データや入出庫データを用いた分析から業務改善に関する検討結果を報告する。

5 城西大学

【テーマ】 「埼玉県のローカル線の有効活用策 ～越生線における貨客混載の可能性を探る」

【概要】 城西大学の通学の足である越生線は、都心から一時間圏内にもかかわらず、利用客が少なく運転本数も少ない。ここで、学生しか利用していない特徴を利用し、空いている時間帯を有効活用する方策を検討する。具体的には、地域の貨物を越生線を利用して輸送する「貨客混載」の可能性を探り、環境問題やトラックドライバー不足の解決を図りたい。